

2022年度 オーストリア政府給費留学生募集要項

1. 募集人員：2～8名
2. 専攻分野：人文科学、社会科学、自然科学、芸術（音楽専攻は除く）
3. 受入機関：オーストリアの大学、専門大学（Fachhochschule）等
4. 給費期間：9か月（2022年10月1日～2023年6月30日、最大12か月の延長が1回可能）
5. 待遇：
 - (1) 奨学金：大学生及び大学院生等 月額 1,050ユーロ
博士号保持者（30歳以上） 月額 1,150ユーロ
助成のための奨学金、要自己資金
 - (2) 住居や保険の手配の支援
 - a) 奨学金受給者は、希望があればOeAD student housingを通じて住居（寮あるいはアパート）の予約が可能。賃貸料は月額250～600ユーロ（希望の条件により異なる）、管理費月額18ユーロ。住居を自分で探すことも可能。
 - b) 奨学金受給者は、オーストリアに滞在する間、オーストリア当局が認める健康保険に加入すること。OeAD は保険加入を援助する。月々の費用は様々で、現時点では55ユーロから200ユーロ（年齢や健康状態により異なる）。奨学金受給者は、宿泊費と保険料を自分で支払うこと。
 - (3) 授業料の免除：EU、国、大学のモビリティプログラムの一環として学業または研究を終えたと証明できる学期については申請により授業料が免除される。
 - (4) 旅費：1,500ユーロを上限に実費を支給
6. 出願手続：
 - (1) 出願書類
 - ①欧文書類：別記1「欧文出願書類一覧」参照
 - ②和文書類：別記2「和文出願書類一覧」参照
 - (2) 願書提出先
 - ①欧文書類：<https://scholarships.at/> を通じオンラインで提出（紙の書類での提出不可）
 - ②和文書類：独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部 留学情報課（直接持参不可）
〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1
TEL 03-5520-6111

* 和文出願封筒の表に「2022年度オーストリア政府給費留学生願書在中」と朱書の上、簡易書留または宅配便で送付すること。
 - (3) 願書提出期限：**2022年5月13日（金曜日）**
7. 選考：
 - (1) 語学・面接試験（国内選考）

日時：2022年5月24日（火曜日）
場所：在日オーストリア大使館（場合によってはオンライン）

* 時間については、後日、在日オーストリア大使館から応募者に通知される。
 - (2) 最終決定
国内選考に合格した者は、候補者としてオーストリア政府に推薦され、同政府によって最終の合否決定が行われる。その結果は同政府から本人に直接通知される。
8. 応募資格：
 - (1) 日本国籍を有する者
 - (2) 年齢が19歳以上35歳以下の者（1986年10月1日以降出生の者）
 - (3) 大学学部の4学期（2年）修了以上の者、また修了見込みの者（本奨学金応募時）
 - (4) 学業成績が優秀で、教授等2名の推薦を得られる者
 - (5) オーストリアの大学で学ぶに足る十分なドイツ語能力を有する者（ドイツ語能力証明書を提出）

* 客員研究者の身分で在籍する場合は、研究プロジェクトが実施される際に使用される言語でもよい。その際は、使用言語での研究受入証明書及び語学能力証明書をあわせて提出のこと。

(6) 奨学金受給前の過去6か月にオーストリアで留学/研究/学術活動をしていないこと。オーストリアに永住していたり、学歴の大半をオーストリアで積んでいる場合は応募できない。

9. 留意事項：

- (1) この奨学金は、応募の時点で日本の大学で学んでいる、研究活動をしている、あるいは教職についている者を優先的に支給対象とするものである。
- (2) 留学が終了した後、報告書を提出しなければならない。
- (3) 他の奨学金への同時応募は可能。
- (4) 応募書類に不備があった場合、および募集要項を満たしていない場合は、選考の対象外となる。
- (5) 奨学金受給者は、原則オーストリアの留学先に滞在し、学習・研究活動を行うこと。
- (6) 不合格となった場合でも、次回以降に改めて応募することができる。
- (7) 欧文出願書類及びオーストリアの大学に関する一般的な情報についての問い合わせは、駐日オーストリア大使館に行くこと。和文出願書類についての問い合わせは、日本学生支援機構留学生事業部留学情報課に行くこと。
- (8) 安全で有意義な留学のため、この奨学金に応募する者は志望校等を選定する際及び奨学金留学生に決定し渡航する際には、各自で必ず事前に留学先国・地域の治安状況等の安全情報をはじめとする留学に関する情報を収集すること。なお、情報収集にあたっては、公的な留学情報機関である独立行政法人日本学生支援機構の「海外留学支援サイト」や海外でのトラブル防止に役立つ世界各国の治安情勢や滞在中の留意点などの安全情報を提供している外務省の「海外安全ホームページ」を活用すること。

- ・ 独立行政法人日本学生支援機構 留学生支援情報
ホームページ：<https://ryugaku.jasso.go.jp/>
- ・ 外務省ホームページ：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- ・ 海外安全ホームページ：<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

欧 文 (独語または英語) 出 願 書 類 一 覧

No.	書類名	備考
1	願書 (ドイツ語能力証明を含む)	
2	推薦状	指導教授等2名に書いてもらうこと。 日本の教授等に書いてもらう場合も独語か英語で書いてもらうこと。
3	履歴書	氏名、学歴[高等学校以上についての学校・学部・学科名、卒業・修了 (または見込) 年月日]及び職歴等を記載すること。
4	研究計画書	
5	大学及び大学院における全科目の成績証明書	大学院在籍中の場合、大学院の成績証明書も提出すること
6	大学及び大学院の卒業・修了証明書	大学学部在学中の場合は、高校の卒業証明書と大学在学証明書を提出すること
7	受入機関の受入証明書 (書状等)	できるかぎり提出すること
8	資金計画書	
9	パスポートの写し (国籍が分かる部分)	

<注意>

上記書類はいずれもscholarships.atを通じオンラインで記入・提出すること。

締切：2022年5月13日 (金曜日)

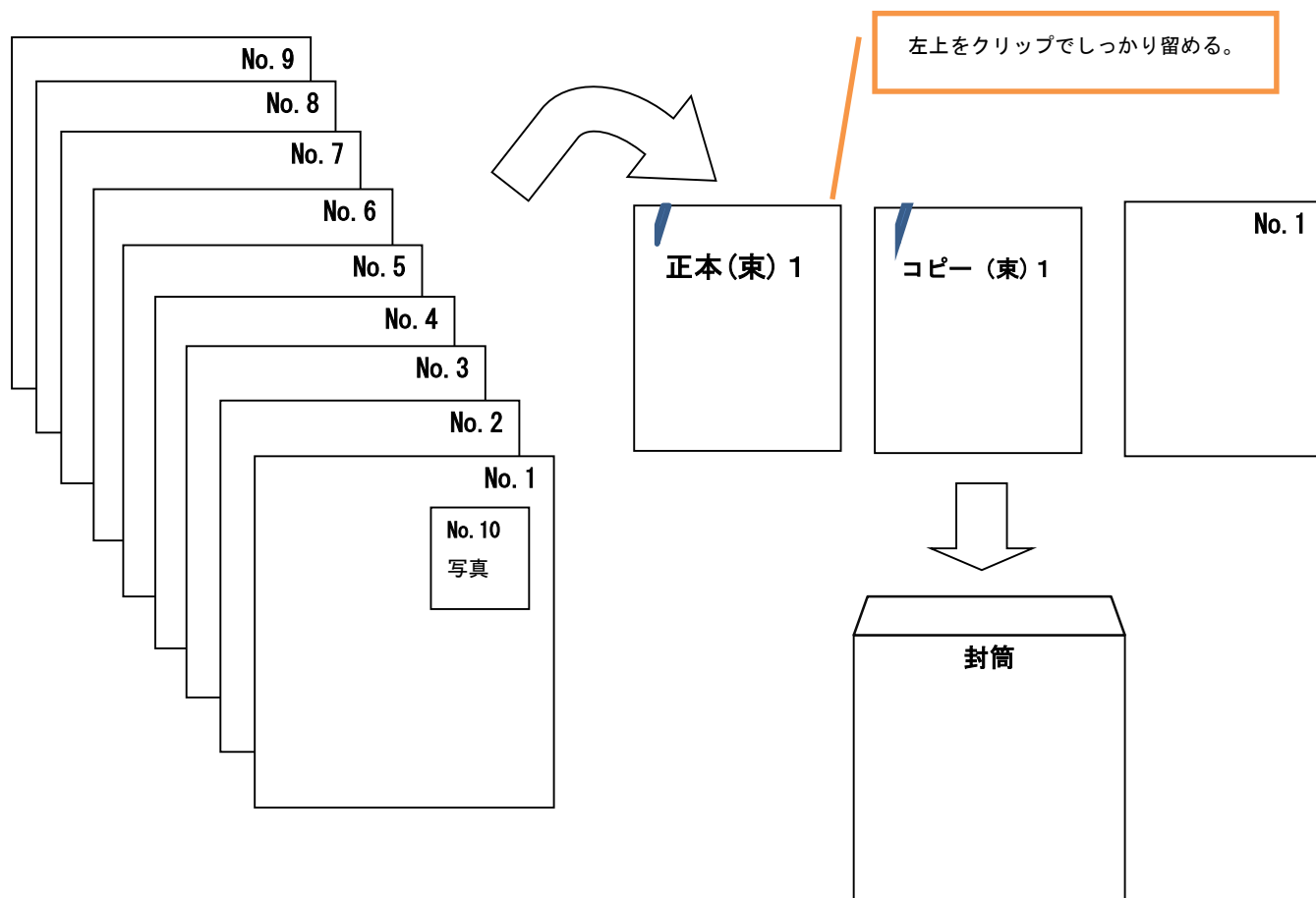
和文出願書類一覧

No.	書類名	備考	部数
1	出願書(別紙)		3通
2	履歴書	氏名、学歴[高等学校以上についての学校・学部・学科名、卒業・修了(または見込)年月日]及び職歴等を記載すること。	2通
3	研究計画書		2通
4	大学及び大学院における全科目の成績証明書	大学院在籍中の場合、大学院の成績証明書も提出すること。	各2通
5	大学及び大学院の卒業・修了証明書	大学学部在学中の場合は、高校の卒業証明書及び大学在学証明書を提出すること。	各2通
6	推薦状	指導教授等2名から書いてもらうこと。形式は自由。 欧文の推薦状を翻訳して使用する場合は、応募者以外の者による和文訳及び翻訳者名を明記した用紙に推薦者自身の署名をもらい、欧文推薦状のコピーとともに提出すること。	各2通
7	受入機関の受入証明書	専門大学(Fachhochschule)への留学希望者は、必ず提出すること。それ以外の者についても、可能な場合には提出すること。欧文のみしか正本が用意できない場合は、「欧文出願書類一覧」の「7.受入機関の受入証明書」のコピーを取り、応募者本人による和訳を添付し提出すること。	2通
8	ドイツ語能力証明書の写し	「欧文出願書類一覧」の「1.願書」で提出するドイツ語能力証明書のコピーに応募者本人による和訳を添付し提出すること。 客員研究者でドイツ語以外の言語を使用する場合は、その言語の語学能力証明書を提出すること。	2通
9	パスポートの写し(国籍が分かる部分)	パスポートがない場合には、戸籍抄本を提出すること。	2通
10	写真	縦5cm×横4cm。「1.出願書」正本の右上に貼付すること。	

<注意>

- (1) 全ての書類は和文で作成する。いずれも正本1通、残り1通はコピーでよい。なお、「1.出願書」の写しは写真貼付後の正本からコピーを2通とること。
- (2) 提出書類で、欧文のみしか正本が用意できない場合は、応募者本人が訳したものでよい。その場合は、理由・翻訳者を明記し、必ず正本のコピーとともに提出すること(「6.推薦状」は除く)。
- (3) 上記の書類は、それぞれ右上に上記書類の番号を記入し、1～9までをそれぞれ1部ずつ順に重ね、左上をクリップで留めたものを2部作成すること。「1.出願書」1通(コピー)は留めずに提出すること。ホチキス止め、両面印刷は不可。
- (4) 出願書類は、A4判で統一するか、A4判の大きさに折りたたむこと。開封無効の証明書等も開封してクリップで留めること。
- (5) 提出された書類は一切返却しない。

<参考図>



【和文出願書類提出先】

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部 留学情報課 (直接持参不可)

〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1

TEL 03-5520-6111

* 出願封筒の表に「2022年度オーストリア政府給費留学生願書在中」と朱書の上、簡易書留または宅配便で送付すること。

締切：2022年5月13日(金曜日) 午後4時必着